

市議団ニュース

第1798号 2016年5月29日

日本共産党 根室市議団
根室市宝林町4-203 23-6023

市立根室病院

「もの忘れ外来」を開始

「最近、もの忘れがひどくなった様だ、もしかして認知症かな？」...皆さんやご家族の中でそんな心配をしている方もいるかもしれません。

そんなときは、普段の「かかりつけのお医者さん」に日常でどんなことに困っているか、日常生活の気になること等を率直に相談してみることが大切だと思います。

また市内では専門の医療機関として、江村精神科内科病院、根室共立病院が診療を行っています。

そして今年5月から、市立根室病院では「もの忘れ外来」を開始しています。毎週火曜日の午後1時30分から受付で、東浦院長が診療にあたっています。予約制ですので、診療を希望される方はまず直接お問い合わせください。(市立根室病院 電話番号 24-3201)

もし何かしらの心当たりがある方は、認知症かどうか、まず一度きちんと調べてみることをお勧めします。



市の高齢者バス券 有料化 その後の利用者の反応は？

大部分の市民が理解を示す

市の制度改正により、今年4月から市内の70歳以上の高齢者の無料バス乗車券が、今年4月から1乗車100円かかるようになりました。

「ようやく70才になったと思ったら有料になってしまい、がっかり...」という声も市民から聞かれます。

ただし市の担当課によると、今年度のバス配布時における市民の方から苦情は数件あったものの、大部分の高齢者の方は「仕方ない」「今の時代、なんでもタダというわけにはいかない」といった反応で、市の制度改正に理解していただいているようだ、と語ります。

乗り継ぎでは200円かかる負担が大変

しかしやはり、一部に課題も生じています。

例えば光洋町から西浜町の老人福祉センターに通う場合、一度バスを乗り換えする必要があり、その都度支払いのため、結局片道200円(往復400円)の負担になります。週2回通うと一月に3200円。年金生活にとって大きな負担です。

「もう通えなくなるのではないか」といった声も聞かれます。

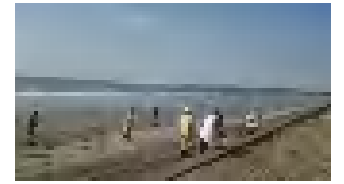
こうした問題について、ぜひ市としてもバス事業者と協議しながら、新たな乗り継ぎ料金の設定など、利用者の声を聞きながら、対応を検討していく必要があると思います。

またこの問題に限らず、今回の制度改正が実際の利用者の行動に影響があったのか、無かったのかを、年間を通じた取り組みの中で、十分な検証を行っていく必要があります。



シーサイド クリーン プロジェクト 2016

今年も、友知・桂木の海岸で多くの市民が清掃活動に参加



2016年5月22日(日)

天候に恵まれ、暖かい陽気の中で多くの市民のみなさんがゴミ拾いに汗を流していました。

根室市はじめての市民との協働事業としてスタートして今年で10回目。

冒頭の市長さんのあいさつによると、今年は事前登録で410名を超え、当日参加をふくめると500名以上の参加で過去最大規模とのこと。

根室市議会
議会報告会
平成28年5月28日(土)
午後6時00分～

【終了時間】午後7時30分頃

趣旨 根室市総合文化会館 2階 第2会議室

内容 市民の方々に日ごとの議会活動などをお知らせする「議会報告会」を行います。
また、市民の皆様から市議会に対する疑問や意見を受け「意見交換」を実施いたします。

対象 根室市内在住の方(お申し込みは不要です)

多くの皆さまのご参加お待ちしております

根室市議会事務局 〒045-8511 根室市宝林町1丁目1-1 電話
0451-22-4111(4分通話代別) FAX 0451-24-4300
E-mail: c.kurumashi@city.nemuro.hokkaido.jp